



【東京都写真美術館映像工夫館テーマ展：アニメーションズ — 過去から未来へ】関連プロジェクト

# マルチメディア・アーカイブ実験2000

映像コンテンツからはじまる  
マルチメディア・アーカイブ



会場

東京都写真美術館・2階エントランスホール

東京都目黒区三田1-13-3 (恵比寿ガーデンプレイス内)

期間

1999年10月1日 - 2000年3月15日

主催 東京都写真美術館

協力

NTTオープン・ラボ  
NTT東日本株式会社研究開発センター  
NTT西日本株式会社研究開発センター  
岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS)  
株式会社日経映像  
ビデオギャラリーSCAN

□東京都写真美術館へのアクセス□



JR恵比寿駅より徒歩7分  
(恵比寿ガーデンプレイス内)  
お車での来場はご遠慮ください。

□実験システムのお問い合わせ先□

NTTオープン・ラボ事務局  
●電子メール: admin@toc.nttopenlab-UNET.ocn.ne.jp  
●fax: 03-5353-6890  
実験の内容および実験システムに関するお問合せは、  
電子メールあるいはファックスでお願いたします。  
東京都写真美術館へのお問合せはご遠慮ください。

## □実験の目的□

マルチメディア・コンテンツの新たな流通のあり方を探るために、東京都写真美術館はNTT OpenLab の協力を得て、マルチメディア・アーカイブ実験のためのプロトタイプシステムを一般公開します。具体的に実験システムを構築して広く世の中の人々に利用していただく実験は、世界でも類を見ない試みです。  
今回の実験では、一般の利用者、コンテンツ制作者、コンテンツ販売業者、著作権代理人、コンテンツを所有する著作権者など、異なる立場からの映像資料の流通に関する意見を調査し、今後の映像資料流通のために必要となる条件をあきらかにしたいと考えています。

本実験の目的は以下のようにまとめられます。

### 著作権関係のテーマ

- デジタル化された映像資料の流通が現行著作権法でどこまで可能か。
- 流通にあたって、著作権者はどこまで許諾するか、また、許諾の条件は何か。
- 著作権は誰のどんな利益を守っているのか。
- 著作権をめくって、具体的にどのような利害があるのか。

### アーカイブ利用をめぐる基礎調査

- 資料の利用者は映像資料の流通に何を望んでいるのか。
- 資料の利用者はどんな映像コンテンツの流通を望んでいるのか。

以上のようなテーマについて調査することを通じて、公共機関における情報サービスの将来像に関する具体的な展望を得たいと考えています。  
本実験は、美術館（博物館）学芸員や図書館司書の方々はもとより、教育関係者、映画関係者、放送関係者、出版関係者など、コンテンツの流通や資料管理に関心のあるすべての方々を対象としています。この、世界でも類を見ない実験に、できるだけ多くの方々のご参加をお待ちしています。

## □収納コンテンツ□

コンテンツは実験開始から終了まで以下のコンテンツの中から順次更新・公開されます。

### 株式会社日経映像提供 映像コンテンツ

「美術のみかた」(全10巻)  
「続・美術のみかた」(全10巻)  
「人間国宝」(全4巻)  
「世界・美の旅」(全30巻)

### ビデオギャラリーSCAN提供 映像コンテンツ

(出展協力作家名 五十音順)

浅野優子	桜井宏哉	中井恒夫
出光真子	佐藤博昭	永田修
伊奈新祐	篠原康雄	VISUAL BRAINS
今井祝雄	島野義孝	(風間正+大津はつね)
宇井朗浩	下西紀	萩原朔美
越後谷卓司	高橋栄樹	藤嶋正樹
加藤到	田旗浩一	松本俊夫
川口真央	dumb type	山口卓司
小林はくどう	土佐尚子	山本圭吾
小口詩子	土屋豊	由良泰人

### 東京都写真美術館提供 映像コンテンツ

「映像文化史紹介」  
「ホワイト・シャドウ」  
他

## ◇マルチメディア・アーカイブとは◇

マルチメディア・アーカイブは、これまで流通してきたコンテンツを蓄積し提供するだけの単なるデータベースではありません。  
文字（印刷物）、写真、動画（映画やビデオ）、音（音楽）などはもとより、コンピュータプログラムなども対象として、速報性と波及性を兼ね備えながらコンテンツを収録し提供する、新たな世代の情報インフラです。  
この新たな情報流通をもたらす情報インフラは、表現する側と利用する側の利害を調整する機能を期待されているという点においても、近年急激に関心が高まっているマルチメディア技術のひとつです。

## ◇MAO (Multimedia Archive Outlook) Project◇

MAO Projectは、NTT OpenLabマルチメディア・アーカイブ探求グループ（研究代表者：桂 英史東京造形大学助教授）と複数の研究協力者から構成される。マルチメディア・アーカイブのあり方について実験と調査を進める研究開発プロジェクトです。

## □実験システムご利用の流れ□

- 1 ユーザ登録 システムのご利用にあたって、ユーザ登録をしていただきます。その他、ご利用にあたってご不明な点などがありましたら、常駐しているインストラクターにおたずねください。
- 2 検索 ユーザIDを入力すると、システムは検索モードに入ります。メニューからキーワードを選択し検索ボタンをクリックします。一般的な用語、人名、作品名などから検索することができます。
- 3 検索結果の確認 検索した結果が画面上に表示されます。キーワードに関連するビデオ情報の先頭フレーム等代表フレーム（静止画）が、画面上にすべて表示されます。また、関連する文字情報もすべて表示されます。
- 4 データの閲覧 この中から見たいビデオ情報や文字情報を選択し、閲覧します。ビデオ情報の再生にあたっては、早送り、巻き戻し、コマ送りなどもマウスの操作で可能です。
- 5 ビデオデータの整理 検索した複数の映像を希望する順番にしたがって並び替えることができます。もちろん、その順番で閲覧することもできます。一定の資格を満たせば、その映像コンテンツを複製することもできます。その場合は、画面上で手続きをおこなってください。
- 6 ビデオテープの申込み 教育目的と調査研究目的（非営利）に限定して、閲覧して並び替えた複数の映像資料を、アナログ形式でVHSに複製し、そのテープを1か月間借りることができます。

## □実験システム構成□

- ◇メインサーバの主な機能◇  
一次データ登録、運用管理・保守、利用者情報収集、データ送信など
- ◇ミラーサーバの主な機能◇  
利用者認証、著作権処理、検索、利用履歴収集、利用者情報送信など

